



ステータス表示ガイド

Rev.02

EH-LS12000B

EH-LS11000W

「ステータス表示ガイド」ご利用条件

2024年8月

セイコーエプソン株式会社

1. 「ステータス表示ガイド」（以下「本書」といいます）の著作権は、セイコーエプソン株式会社（以下「当社」といいます）に帰属いたします。お客様は当社のプロジェクター製品をご利用いただく目的のためにのみ、本書を1部印刷し、ご利用いただくことができます。お客様は当社に無断で本書の全部または一部を複製、転載、改変、送信したりすることはできません。
2. 本書の内容は将来予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。
3. お客様は、本書をお客様ご自身の責任においてご利用いただくものとします。お客様が本書をご利用いただいたこと、またはご利用いただけなかったことにより、お客様に直接的、間接的、特別、偶発、結果的、その他いかなる損害が生じた場合でも、当社は一切責任を負いません。

ステータス表示

大項目	項目名	説明	
System		本機のシステム状態を表示します。	
	<1/3>	本機の主要な状態を表示します。	
	System Status		システムの動作状態を表示します。
			OK：通常状態です。
			Warm-Up：ウォームアップ状態です。
			Standby：スタンバイ状態です。
			Cool Down：クールダウン状態です。
			Temp Error：内部高温異常です。 自動的に消灯し、投写できなくなります。電源を切った状態で5分間待ち、温度を下げます。 <ul style="list-style-type: none"> エアフィルターや排気口がふさがれていないか、周辺のものや壁で通気が妨げられていないか確認します。 高温にならない環境で使用するようにします。 エアフィルターが目詰まりしているときは、掃除または交換します。詳細については、『取扱説明書』をご参照ください。 標高1,500m以上の場所でお使いのときは、[設置]メニューの[高地モード]を[オン]にします。 問題が解決しないときは、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。
			Fan Error：ファン異常です。 ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。
			Sensor Error：センサー異常です。 ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。
			Internal Error：内部異常です。 ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。
			Temp Warning：高温警告です。 <ul style="list-style-type: none"> エアフィルターや排気口がふさがれていないか、周辺のものや壁で通気が妨げられていないか確認します。 エアフィルターが目詰まりしているときは、掃除または交換します。 高温にならない環境で使用するようにします。
		Laser Error：レーザー異常です。 ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。	
		Laser Warning：レーザー警告です。 ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。	
Laser Status	光源の点灯状態を表示します。		
Last Event	最新の警告またはエラーを表示します。		
Intake Air Temp	吸気温度を表示します。		
Internal Temp Lv	内部温度レベルを5段階で表示します。		

ステータス表示

大項目	項目名	説明
	<2/3>	使用時間および光源情報を表示します。
	Operation Time	累積使用時間を表示します。
	Laser Op. Time	レーザー光源の累積使用時間を表示します。
	<3/3>	選択された入力ソースの状態を表示します。
	Source	選択された入力ソースを表示します。 表示例：HDMI
	Signal Status	信号の判別結果を表示します。 <ul style="list-style-type: none"> • Available：表示可能な信号です。 • No Signal：入力信号がありません。 • Not Supported：入力信号を検出しましたが、対応していない信号のため表示できません。
	Resolution	解像度を表示します。 表示例 1：640x480：有効解像度が、横640ピクセル x 縦480ラインの映像信号 表示例 2：1920x1080：有効解像度が、横1920ピクセル x 縦1080ラインの映像信号
	Refresh Rate	リフレッシュレートと走査方式を表示します。 表示例 1：24p = リフレッシュレート 24 [Hz]、走査方式：Progressive 表示例 2：60i = リフレッシュレート 60 [Hz]、走査方式：Interlace
	ColorSamp./Depth	カラーサンプリングとビット深度を表示します。 表示例 1：YCbCr444/8bit 表示例 2：RGB/10bit 備考 下記の入力端子では、YCbCr422が入力された場合、ビット深度の解析ができないため、“-”と表示します。 • HDMI
	Color Space	カラースペースを表示します。 • Auto(***)： [オート]に設定しているときに、入力信号から自動判別した色空間を***に表示します。 表示例：Auto(BT.709) • BT.709： 入力信号をBT.709で処理しているときに表示します。 • BT.2020： 入力信号をBT.2020で処理しているときに表示します。 備考 • BT.709： 主にDVDや従来のテレビ放送などで使われます。 • BT.2020： 主にHDRなどの高色域の映像コンテンツなどで使われます。

ステータス表示

大項目	項目名	説明
	Dynamic Range	<p>ダイナミックレンジを表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> Auto(***)： [オート]に設定しているときに、入力信号から自動判別したダイナミックレンジを***に表示します。 表示例：Auto(SDR) SDR： 入力信号をSDRで処理しているときに表示します。 HDR10： 入力信号をHDR10で処理しているときに表示します。 HDR10+： 入力信号をHDR10+で処理しているときに表示します。 HLG： 入力信号をHLGで処理しているときに表示します。 <p>☞ 備考</p> <ul style="list-style-type: none"> SDR： 主にDVDや従来のテレビ放送などで使われます。 HDR10： HDR規格の1つで、主にUltra HD Blu-rayなどで使われます。SDRより約10倍の明るさの階調があり、リアルな映像表示が可能です。 HDR10+： HDR10の拡張規格で、主にUltra HD Blu-rayなどで使われます。ダイナミックメタデータにより、動的に映像を処理し、HDR10よりもシーンごとに適した階調の映像表示が可能です。 HLG： HDR規格の1つで、主にテレビ放送で使われます。SDRより約10倍の明るさの階調があり、リアルな映像表示が可能です。
	Video Range	<p>ビデオレンジを表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> Auto(***)： [オート]に設定しているときに、入力信号から自動判定したビデオレンジを***に表示します。 表示例：Auto(Limited) Limited(16-235)： 入力信号をLimitedで処理しているときに表示します。 Full(0-255)： 入力信号をFullで処理しているときに表示します。 <p>☞ 備考</p> <ul style="list-style-type: none"> Limited(16-235)： 主に入力信号がYCbCr 信号のときに選ばれます。 Full(0-255)： 主に入力信号がRGB 信号のときに選ばれます。 映像に白とびや黒つぶれが見られるときは、プロジェクターメニューの[信号入出力] > [入力信号フォーマット] を[フル(0-255)]に設定してください。
	Frame Interp.	<p>フレーム補間機能の設定を表示します。</p> <p>設定値：Off、Low、Mid、またはHigh</p>
Version		本機の製造番号とファームウェアのバージョンを表示します。
	Serial Number	製造番号を表示します。
	Main	ソフトウェアのメインバージョンを表示します。
	Video2	ソフトウェアのバージョンを表示します。
	Sub	ソフトウェアのバージョンを表示します。
	HDMI	ソフトウェアのバージョンを表示します。
	Pixel Shift	ソフトウェアのバージョンを表示します。
Network Wired		本機の有線LANの状態を表示します。
	Projector Name	ネットワーク上で本機を識別するための固有の名前を表示します。
	Connection Mode	有線LANの接続経路の設定を表示します。
	DHCP	DHCPの設定を表示します。
	IP Display	IPアドレス表示の設定を表示します。
	IP Address	IPアドレスを表示します。
	MAC Address	MACアドレスを表示します。

ステータス表示

大項目	項目名	説明
Input Signal		本機で選択された入力ソース信号の状態を表示します。
	<1/3>	入力信号の一般情報を表示します。
	Sync Detect(5V)	<p>接続機器に対する5V信号の検出結果を表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> Detected：5V信号が検出されました。 Not Detected：5V信号が検出されません。 <p>☞ 備考</p> <p>Not Detectedと表示された場合は、5V信号が検出されていません。機器やケーブルが正しく接続されているかご確認ください。</p>
	Signal Status	<p>信号の判別結果を表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> Available：表示可能な信号です。 No Signal：入力信号がありません。 Not Supported：入力信号を検出しましたが、本機が対応していない信号のため表示できません。
	Resolution	<p>解像度を表示します。</p> <p>表示例 1：640x480：有効解像度が、横640ピクセル x 縦480ラインの映像信号</p> <p>表示例 2：1920x1080：有効解像度が、横1920ピクセル x 縦1080ラインの映像信号</p>
	Refresh Rate	<p>リフレッシュレートと走査方式を表示します。</p> <p>表示例 1：24p = リフレッシュレート 24 [Hz]、走査方式：Progressive</p> <p>表示例 2：60i = リフレッシュレート 60 [Hz]、走査方式：Interlace</p>
	ColorSamp./Depth	<p>カラーサンプリングとビット深度を表示します。</p> <p>表示例 1：YCbCr444/8bit</p> <p>表示例 2：RGB/10bit</p> <p>☞ 備考</p> <p>下記の入力端子では、YCbCr422が入力された場合、ビット深度の解析ができないため、“-”と表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> HDMI
Color Space	<p>カラースペースを表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> Auto(***)： [オート]に設定しているときに、入力信号から自動判別した色空間を***に表示します。 <p>表示例：Auto(BT.709)</p> <ul style="list-style-type: none"> BT.709： 入力信号をBT.709で処理しているときに表示します。 BT.2020： 入力信号をBT.2020で処理しているときに表示します。 <p>☞ 備考</p> <ul style="list-style-type: none"> BT.709：主にDVDや従来のテレビ放送などで使われます。 BT.2020：主にHDRなどの高色域の映像コンテンツなどで使われます。 	

ステータス表示

大項目	項目名	説明
	Dynamic Range	<p>ダイナミックレンジを表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> Auto(***)： [オート]に設定しているときに、入力信号から自動判別したダイナミックレンジを***に表示します。 表示例：Auto(SDR) SDR： 入力信号をSDRで処理しているときに表示します。 HDR10： 入力信号をHDR10で処理しているときに表示します。 HDR10+： 入力信号をHDR10+で処理しているときに表示します。 HLG： 入力信号をHLGで処理しているときに表示します。 <p>☞ 備考</p> <ul style="list-style-type: none"> SDR： 主にDVDや従来のテレビ放送などで使われます。 HDR10： HDR規格の1つで、主にUltra HD Blu-rayなどで使われます。SDRより約10倍の明るさの階調があり、リアルな映像表示が可能です。 HDR10+： HDR10の拡張規格で、主にUltra HD Blu-rayなどで使われます。ダイナミックメタデータにより、動的に映像を処理し、HDR10よりもシーンごとに適した階調の映像表示が可能です。 HLG： HDR規格の1つで、主にテレビ放送で使われます。SDRより約10倍の明るさの階調があり、リアルな映像表示が可能です。
	Video Range	<p>ビデオレンジを表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> Auto(***)： [オート]に設定しているときに、入力信号から自動判別したダイナミックレンジを***に表示します。 表示例：Auto(Limited) Limited(16-235)： 入力信号をLimitedで処理しているときに表示します。 Full(0-255)： 入力信号をFullで処理しているときに表示します。 <p>☞ 備考</p> <ul style="list-style-type: none"> Limited(16-235)： 主に入力信号がYCbCr 信号のときに選ばれます。 Full(0-255)： 主に入力信号がRGB 信号のときに選ばれます。 映像に白とびや黒つぶれが見られるときは、プロジェクターメニューの[信号入出力] > [入力信号フォーマット] を[フル(0-255)]に設定してください。
	HDCP Status/Ver	<p>HDCPの状態とHDCPバージョンを表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> --/--： HDCP非対応信号、もしくは無信号 Fail/--： HDCP認証不合格 Pass/1.4： HDCP認証合格 / HDCP Ver 1.4 Pass/2.3： HDCP認証合格 / HDCP Ver 2.3

ステータス表示

大項目	項目名	説明
	Trans. Type	<p>伝送方式を表示します。</p> <p>TMDS伝送方式</p> <ul style="list-style-type: none"> TMDS 10.2G：最大10.2 Gbps (ハイスピード HDMI ケーブルをご利用ください) TMDS 18G：最大18 Gbps (プレミアム ハイスピード HDMI ケーブルをご利用ください) <p>FRL伝送方式</p> <ul style="list-style-type: none"> FRL-3 9G：最大9 Gbps FRL-3 18G：最大18 Gbps FRL-4 24G：最大24 Gbps FRL-4 32G：最大32 Gbps FRL-4 40G：最大40 Gbps (FRL伝送は、ウルトラ ハイスピード HDMI ケーブルをご利用ください)
	Stable Time	<p>信号変化を起点に、現在までの使用時間を表示します。</p> <p>☞ 備考</p> <p>信号変化を起点に時間がリセットされ、使用時間のカウントを開始します。</p>
	<2/3>	入力信号の詳細を表示します。
	Signal Mode	<p>信号モードを表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> HDMI：HDMI信号と認識された場合 DVI：DVI信号と認識された場合
	AVI VIC/Chk.Sum	<p>AVI InfoFrameのVICコードとチェックサムを表示します。</p> <p>VICコード：判定結果を3桁の数字で表示します。</p> <p>チェックサム：判定結果を表示します (Pass / Fail)。</p> <p>表示例：016/Pass</p>
	CLK-MHz/Frame-Hz	<p>ピクセルクロック周波数とリフレッシュレートの実測値を表示します。</p> <p>ピクセルクロック周波数 [MHz]：整数部最大4桁、小数部3桁</p> <p>リフレッシュレート [Hz]：整数部最大3桁、小数部3桁</p> <p>表示例：148.500/60.000</p>
	Total-H/V	<p>有効ピクセル数とブランキングを含めたトータルのピクセル数・ライン数を表示します。</p> <p>1ライン当たりのトータルのピクセル数：整数部最大4桁</p> <p>1フレーム当たりのトータルのライン数：整数部最大4桁</p> <p>表示例：2200/1125</p>
	Sync Polarity	<p>水平・垂直同期信号の極性を表示します。</p> <p>水平同期信号の極性：Pos / Neg</p> <p>垂直同期信号の極性：Pos / Neg</p> <p>表示例：H:Pos/V:Neg</p>
	EDID Mode	<p>EDIDモードの設定を表示します。</p> <p>表示例：Up to 4K60 10G</p>
	EDID HDR10+	EDID (HDR10+)のモードを表示します。
	Equalizer Level	<p>イコライザーレベル (HDMI IN EQレベルの設定) を表示します。</p> <p>設定値：Auto、Low、Medium、またはHigh</p> <p>☞ 備考</p> <p>映像にノイズが入ったり、映らないときは、プロジェクターメニューの[信号入出力] > [HDMI IN EQレベル]を変更することで、症状の改善ができる場合があります。</p>

ステータス表示

大項目	項目名	説明
	<3/3>	入力信号の詳細を表示します。
	Audio Type	HDMI端子から接続機器へ送信する音声信号の種類を表示します。 <ul style="list-style-type: none"> • ARC：従来の音声データ伝送（DVDやテレビ放送など） • eARC：高品位な音声データの伝送（Ultra HD Blu-rayなど）
	Audio Freq/Depth	HDMI端子から接続機器へ送信する音声信号の周波数とビット深度を表示します。 表示例：44.1kHz/16bit <small>備考</small> 圧縮音声フォーマットの場合は表示されないことがあります。
	GCP A/V Mute	GCPパケットのA/Vミュートの状態を表示します。 <ul style="list-style-type: none"> • On：本機は映像と音声を表示・出力できません。 • Off：本機は映像と音声を表示・出力できます。 <small>備考</small> Onと表示されたときは、接続機器または本機の電源を入れ直してください。問題が解決しないときは、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。
	DDC Status	接続機器とのDDC通信の状態を表示します。

商標について

HDMI、HDMIロゴ、High-Definition Multimedia Interface、ハイスピード HDMI、およびウルトラハイスピード HDMIは、HDMI Licensing Administrator, Inc.の商標、または登録商標です。



なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。